

機械器具51 医療用嘴管及び体液誘導管

高度管理医療機器

中心循環系マイクロカテーテル 70296004  
(冠動脈貫通用カテーテル 70295000)  
(マイクロカテーテル 70296013)

ナデシコ®

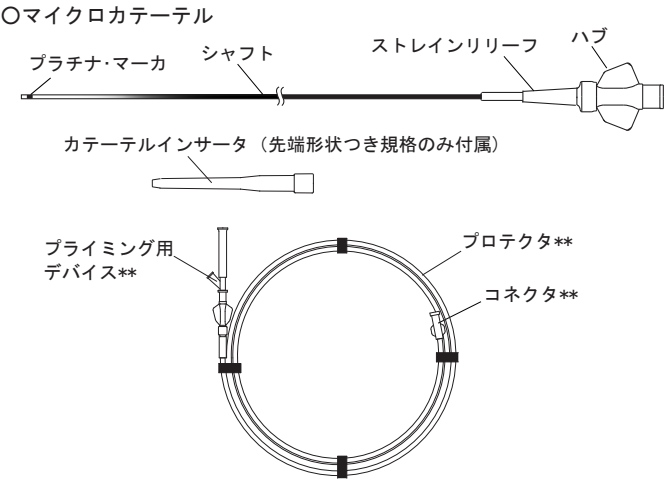
再使用禁止

- \*\*【警告】**
- カテーテルやガイドワイヤの血管内での操作は、エックス線透視下で先端の動きや位置を確認しながら、ゆっくりと慎重に行うこと。[血管が損傷、穿孔する可能性がある。]\*\*
  - 塞栓用コイル、塞栓物質及び薬剤の挿入中に違和感が生じた場合は使用を中止し、エックス線透視下にてカテーテルを抜去すること。[無理に挿入した場合は、血管の損傷及びカテーテルが破損する可能性がある。]
  - 操作中に違和感や折れ曲がりが生じたり、先端の動きや位置の異常に気づいた場合は操作を中止し、抜去すること。[カテーテルやガイドワイヤが破損している可能性があり、使用を継続した場合は、血管の損傷及びカテーテルやガイドワイヤが破損する可能性がある。]\*\*
  - 湾曲のきつい部分でカテーテルやガイドワイヤの同一箇所を繰り返し屈曲させたり、回転させないこと。[カテーテルやガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。]\*\*
  - カテーテルを抜去する際には無理に引っ張らないこと。抜去し難い場合には、エックス線透視下でガイドワイヤを挿入し、ガイディングカテーテルと一緒に抜去すること。[カテーテルを無理に引っ張ると、血管が損傷したりカテーテルが離脱して血管内に残る可能性がある。]

- \*\*【禁忌・禁止】**
- 再使用禁止
  - 1. 適用対象
  - 妊娠している、あるいはその可能性のある患者には使用しないこと。[エックス線による胎児への影響が懸念される。]
  - 2. 併用医療機器
  - 本品に適合しない塞栓用コイルを使用しないこと。[本品に適合しないコイルを使用した場合、コイルの挿入不良が発生する可能性がある。]
  - 金属製トルクデバイスとの併用は行わないこと。[ガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。]\*\*
  - 3. 使用方法
  - カテーテルにインジェクタ(自動注入装置)にて造影剤や薬剤を注入する際には、最大注入圧を超える圧カリミッタを設定しないこと。[カテーテルが破損する可能性がある。]
  - カテーテルやガイドワイヤを消毒用アルコール等の有機溶剤を含む薬剤への浸漬、又は拭き取りを行わないこと。[カテーテルやガイドワイヤが破損したり、表面の潤滑性が損なわれる可能性がある。]\*\*

**\*\*【形状・構造及び原理等】**  
マイクロカテーテルに構成品や付属品を任意に組み合わせる場合がある。\*\*

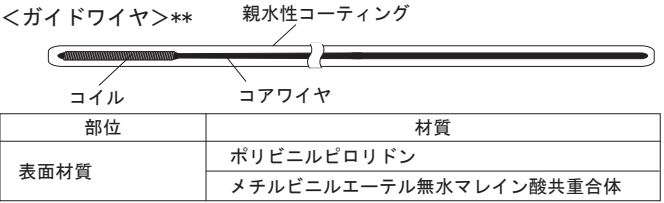
＜構成＞



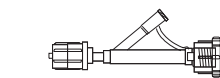
| 部位   | 材質          |
|------|-------------|
| シャフト | ポリアミドエラストマー |
|      | ポリアミド       |
|      | 白金          |
|      | ポリビニルピロリドン  |
|      | フッ素ポリマー     |
| ハブ   | ポリアミド       |

| 公称外径[mm]                  | 公称内径[mm]                      | ブレード材質** | 適合<br>ガイドワイヤ<br>最大径[mm] | 適合<br>ガイディング<br>カテーテル<br>最小内径[mm]** |
|---------------------------|-------------------------------|----------|-------------------------|-------------------------------------|
| 手元部/先端部                   | 手元部/先端部                       |          |                         |                                     |
| 0.97/0.88<br>(2.9/2.6F)   | 0.69/0.63<br>(0.027/0.025")   | ポリアミド**  | 0.53<br>(0.021")・       | 0.97**<br>(0.038")                  |
| 0.95/0.80<br>(2.9/2.4F)   | 0.65/0.53<br>(0.026/0.021")   |          | 0.46<br>(0.018")・       |                                     |
| 0.95/0.71<br>(2.9/2.1F)   | 0.65/0.46<br>(0.026/0.018")   |          | 0.41<br>(0.016")        |                                     |
| 0.95/0.58**<br>(2.9/1.7F) | 0.58/0.42**<br>(0.023/0.017") |          | 0.41**<br>(0.016")      |                                     |
| 0.90/0.64*<br>(2.7/1.9F)  | 0.51/0.51*<br>(0.020/0.020")  | タングステン** | 0.46*<br>(0.018")       | 0.81**<br>(0.032")                  |
| 0.79/0.68<br>(2.4/2.0F)   | 0.58/0.51<br>(0.023/0.020")   |          | 0.46<br>(0.018")        |                                     |

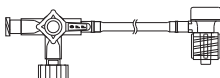
○構成品



＜Yコネクタ＞\*\*



＜止血弁＞\*\*



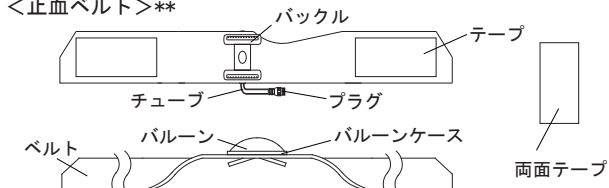
＜シリンジ＞



＜採液針＞\*\*



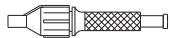
## <止血ベルト>\*\*



・出荷時は右大腿部用の方向でパルーンケースとバックルをセットしています。\*\*

## ○付属品

### <トルクデバイス> \*\*



### <シェイピングマンドレル>



### <シェイピング用インサータ>\*\*



### <インサータ>\*\*



## 【使用目的、効果又は効能】

本品は頭頸部及び腹部等における血管内診断・処置用として造影剤、薬剤、塞栓物質等を血管内の目的とする部位まで注入するために使用する。また、冠動脈等の狭窄部において経皮的冠動脈形成術用ガイドワイヤの通過が困難な場合、ガイドワイヤの通過部を確保するために使用する。なお、迅速な処置を行うために本品マイクロカテーテルと構成医療機器を組み合わせた製品があり、任意に付属品を組み合わせる。

## \*\*【品目仕様等】

### 1. カテーテルの破断強度

- ・シャフト外径0.75mm未満 3N以上\*\*
- ・シャフト外径0.75mm以上 5N以上\*\*

### 2. ハブの接合部強度

- ・シャフト外径0.75mm未満 3N以上\*\*
- ・シャフト外径0.75mm以上 5N以上\*\*

### 3. カテーテル先端開放時耐圧性\*\*

- ・ポリアミドブレード 4,200kPa (600psi) \*\*
- ・ステンレス鋼ブレード 8,400kPa (1,200psi) \*\*
- ・タングステンブレード 8,400kPa (1,200psi) \*\*

## \*\*【操作方法又は使用方法等】

### <準備作業>\*\*

- あらかじめ留置されたシース及びガイドリングカテーテル内に抗凝固剤を添加した生理食塩液等の等張液（以下、ヘパリン加生理食塩液等）をプライミングします。\*\*
- 本品を包装より取り出します。
- シリンジを包装から取り出し、ヘパリン加生理食塩液等を満たします。シリンジをプロテクタ後端のコネクタに接続し、ヘパリン加生理食塩液等を注入し、カテーテルの表面を十分にぬらします。注入後、シリンジをコネクタから取り外します。\*\*
- カテーテルをプロテクタから表面を傷つけないように慎重に取り出します。\*\*
- ヘパリン加生理食塩液等を満たしたシリンジをプライミング用デバイスに接続し、ヘパリン加生理食塩液等を注入し、カテーテル内くう（腔）及びガイドワイヤ表面を十分にぬらします。注入後、シリンジをプライミング用デバイスから取り外し、プライミング用デバイスをハブから取り外します。\*\*
- ガイドワイヤが組み合わされていない規格については、表面を十分にぬらした適合サイズのガイドワイヤ（別途準備品）をハブから挿入します。\*\*
- ガイドワイヤ先端に形状を付ける場合は、表面の潤滑状態を保ち、指先又はシェイピング用インサータに巻きつけるようにして慎重に加工します。\*\*
- カテーテル先端に形状を付ける場合は、ガイドワイヤを手元側に引き、シェイピングマンドレルをカテーテルへ挿入し、任意の形状を

作り、スチームを当てます。シェイピングマンドレルを抜き、形状及び潤滑性を確認します。\*\*

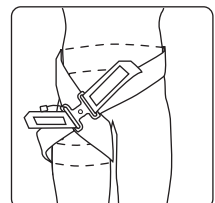
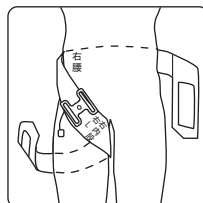
### <挿入方法>\*\*

- 目的部位まで挿入したガイドリングカテーテルのハブにYコネクタもしくは止血弁を接続し、ガイドリングカテーテル内にヘパリン加生理食塩液等を持続的に注入します。\*\*
- 接続したYコネクタもしくは止血弁にガイドワイヤを組み合わせたカテーテルを挿入します。先端形状つき規格においてカテーテルが挿入し難い場合は、付属のカテーテルインサータで先端形状を伸ばして挿入します。挿入後、カテーテルインサータはストレインリリーフの上に被せます。\*\*
- ガイドワイヤの手元側にトルクデバイスを適切な箇所に締めつけます。トルクデバイス进行操作しながら、エックス線透視下でガイドワイヤやカテーテルを目的部位に誘導します。ガイドワイヤの長さを調節する場合は、トルクデバイスを緩めて適切な長さで締めつけます。\*\*
- カテーテルが目的部位まで到達したら、ガイドワイヤを抜去します。
- ハブにシリンジもしくはインジェクタを接続し、少量の造影剤を注入し、エックス線透視下でカテーテル先端から造影剤が流出することを確認した後、造影剤、薬剤、塞栓物質等を注入します。再度ガイドワイヤをカテーテルに挿入する場合は、必要に応じてハブにインサータを挿入し、エックス線透視下でガイドワイヤ先端を確認しながら目的部位に誘導します。インサータを使用した場合はインサータを取り除きます。\*\*
- さらに別の目的部位にカテーテルを挿入する場合は、カテーテル内にヘパリン加生理食塩液等を十分に注入した後、ガイドワイヤを挿入し、3～5の操作を行います。\*\*
- 手技を終了する場合には、カテーテルやガイドワイヤを慎重に抜去します。\*\*

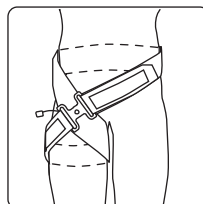
### <止血方法>\*\*

#### ○右大腿部の場合\*\*

- 止血ベルトを包装より取り出します。\*\*
- 一次止血を行った後、穿刺部にガーゼを当てて絆創膏で軽く止めます。\*\*
- ガーゼの上にパルーンを正確に当てて、以下にしたがってベルトをシワがないように巻きつけて固定します。\*\*
  - 「右内股」の表示が見える
  - ベルトをバックルに通します。\*\*

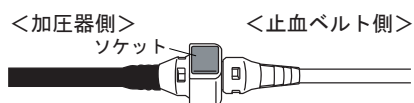


- テープの紙をはがし、ベルトに貼り付けて固定します。\*\*



※ベルトが長い場合にはテープとバックルの間に付属の両面テープを貼り付け、長さを調節します。\*\*

- 加圧器（別売品、品番：RK-1007）のソケットと止血ベルトのプラグを接続して、必要な圧力（原則として収縮期血圧と同じ圧力であるが、患者の状態（血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ）に応じて圧力を調整する）までパルーンを加圧した後、加圧器のソケットを取り外します。\*\*



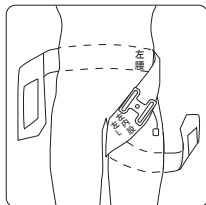
- 加圧開始から数時間後に患者の状態（血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ）に応じてパルーンを減圧し、圧迫完了後、足背動脈、患者の訴えを確認してから止血ベルトを取り外します。\*\*

#### ○左大腿部の場合\*\*

1. 止血ベルトを包装より取り出します。\*\*
2. バックルとバルーンケースを付け替えます。\*\*



3. 「左内股」の表示が見えるように巻きつけます。\*\*



4. 以下、○右大腿部の場合3. 2)～5の操作を同様にを行います。\*\*

#### 使用方法に関連する使用上の注意

##### <準備作業>\*\*

- シリンジやトルクデバイス等の包装は無菌性が保持できない形状であるため、開封後は直ちに使用すること。\*\*
- カテーテルやガイドワイヤをプロテクタから取り出す時に抵抗を感じた場合には、無理に取り出さず、プロテクタ後端のコネクタからヘパリン加生理食塩液等をさらに注入し、表面を十分ぬらし、再度取り出すこと。\*\*
- カテーテルやガイドワイヤをプロテクタから取り出した後、カテーテルやガイドワイヤの表面が乾燥した場合には、再度ヘパリン加生理食塩液等に浸すこと。\*\*
- ガイドワイヤを組み合わせたカテーテルへのヘパリン加生理食塩液等の注入はカテーテル先端より十分流出されるまで行うこと。[ガイドワイヤ表面の潤滑性が不十分なままカテーテル内を操作した場合、カテーテルやガイドワイヤが破損する可能性がある。]\*\*
- ガイドワイヤ先端に形状を付ける際は、指又はシェイピング用インサータで行うこと。加熱したり、鉗子やツメ等ではさんだり、鋭角に曲げたり、同じ箇所を繰り返し曲げたりしないこと。[ガイドワイヤ表面の潤滑性が損なわれたり、破損、切断する可能性がある。]\*\*
- カテーテル先端に形状を付ける際は、シェイピングマンドレルを用いて、加熱にはスチーム以外を使用しないこと。また、カテーテル先端をしごいたり、鉗子等で強くはさんだり、鋭角に曲げたり、同じ箇所を繰り返し曲げたりしないこと。[カテーテル表面の潤滑性が損なわれたり、内腔の変形、破損、切断する可能性がある。]\*\*
- ガイドワイヤ先端に形状を付けた場合には、カテーテル等に挿入する前にコイル部の強度と異常の有無を確認すること。[ガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。]\*\*
- 別途準備したガイドワイヤを使用する場合は、最大外径が適合ガイドワイヤ最大外径以下のものを選択し、使用すること。(【形状・構造及び原理等】参照)

##### <挿入方法>\*\*

- カテーテルやガイドワイヤをカテーテルインサータ、インサータを使用してガイディングカテーテルへ挿入する際に、先端がつかえたり、少しでも抵抗がある場合は無理に挿入しないこと。[カテーテルやガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。]\*\*
- カテーテルシャフト周りの血液流出を防ぐために、Yコネクタのバルブを十分閉めること。ただし、Yコネクタによる過度の締めつけやカテーテルに締めつけたままの操作は行わないこと。[カテーテルが破損、切断する可能性がある。]\*\*
- 挿入中にカテーテルの操作性が悪くなった場合には、ガイディングカテーテルに接続したYコネクタもしくは止血弁の側管からヘパリン加生理

食塩液等を注入すること。注入によって操作性が改善しない場合は、操作を中止しガイディングカテーテルごと慎重に抜去すること。\*\*

- ガイドワイヤをカテーテル内に引き戻した状態にして操作する場合は慎重に行うこと。[血管の損傷、カテーテルのキンクを生じる可能性がある。]\*\*
  - カテーテルやガイドワイヤを急激に直進操作しないこと。[急激な操作を行うと、血管を損傷する可能性がある。]\*\*
  - カテーテルを末梢血管に挿入する場合はカテーテルを少し引き戻す操作を行い、抜去可能なことを確認しながら操作すること。
  - ガイドワイヤを抜去する際、少しでも抵抗がある場合には、ガイドワイヤを無理に抜去しないこと。[ガイドワイヤが破損する可能性がある。]\*\*
  - 抜去したガイドワイヤはヘパリン加生理食塩液等を満たしたバットに浸し、すすぐようにして表面に付着した血液を除去すること。なお、血液が除去し難い場合は、ヘパリン加生理食塩液等を浸したガーゼで一回軽く拭き取ること。[ガイドワイヤの潤滑性が低下する可能性がある。]\*\*
  - カテーテル先端から造影剤、薬剤、塞栓物質等が流出しない場合は操作を中止し、抜去すること。[カテーテルが破損している可能性があり、使用を継続した場合は、血管の損傷及びカテーテルが破損する可能性がある。]\*\*
  - ガイドワイヤを塞栓物質の挿入用の補助具として使用しないこと。[カテーテル内でガイドワイヤが塞栓物質に乗り上げて、適切な塞栓術が行えなくなる可能性がある。][カテーテルやガイドワイヤが破損する可能性がある。]\*\*
- ##### <止血方法>\*\*
- バルーンの圧迫接触面はできる限りバルーンの中央部を穿刺部に当てること。\*\*
  - 使用時にベルトのズレや緩みが生じる場合は、事前に適当な絆創膏等でベルトを固定すること。[緩みにより圧迫力が下がる可能性がある。]\*\*
  - プラグの接続部には触れないこと。\*\*
  - バルーンは品質確認のため、出荷時に少し加圧しています。使用前の確認でバルーンが収縮している場合は使用しないこと。\*\*
  - チューブを過度に引っ張らないこと。[チューブの破損が生じる可能性がある。]\*\*
  - 使用中はバックル中央部の確認窓から指を入れ、バルーンの加圧が保持されていることを確認すること。\*\*

#### \*\*【使用上の注意】

1. 使用注意(次の患者には慎重に適用すること。)

- ・出血性要因のある患者
- ・心筋梗塞症の急性期の患者
- ・重篤な腎障害のある患者
- ・造影剤及び使用薬剤に対して重篤なアレルギーのある患者
- ・血管造影に協力の得られない患者

2. 重要な基本的注意

- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後使用すること。
- 本品は血管内治療に熟練した医師のみが使用すること。
- すべての操作は無菌的に行うこと。
- 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- 包装を開封したらすぐに使用すること。
- 造影剤や薬剤等を注入するシリンジはカテーテル内くう(腔)が小さいので、1mL又は2.5mLを使用すること。
- インジェクタを使用する場合はカテーテル内くう(腔)のつまり、キンクのないことを確認すること。
- カテーテルやガイドワイヤをガイディングカテーテルに挿入する際、

Yコネクタもしくは止血弁の弁及び三方活栓等にて破損させないように十分注意すること。〔カテーテルやガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。〕\*\*

- カテーテルやガイドワイヤがガイディングカテーテルに挿入された状態で活栓操作を行わないこと。〔カテーテルやガイドワイヤが破損、切断する可能性がある。〕\*\*
- カテーテルやガイドワイヤをメスやハサミ等で損傷しないよう注意すること。\*\*
- ガイドワイヤにトルクデバイスを締めつけた状態で固定位置を変えないこと。〔ガイドワイヤが破損する可能性がある。〕\*\*
- シェイピング用インサータやシェイピングマンドレルは体内に入れないこと。\*\*
- Yコネクタ及び止血弁を消毒用アルコール等の有機溶剤を含む薬剤や油性造影剤の注入及びインジェクタによる造影剤等の注入に使用しないこと。〔Yコネクタ及び止血弁が破損する可能性がある。〕\*\*
- 操作中は、ヘパリン加生理食塩液等でカテーテルの表面がぬれた状態にして使用すること。〔カテーテルの潤滑性が損なわれる可能性がある。〕
- カテーテルやガイドワイヤが折れ曲がった場合は、新しい製品と交換すること。〔血管を損傷する可能性がある。〕\*\*
- Yコネクタは、バルブの開閉ねじを軽く押し込みながら回して、バルブの開閉が確実に行われることを確認すること。また、異常がある場合は使用しないこと。\*\*
- Yコネクタ及び止血弁内、特にバルブ部が血液に満たされた状態で長時間放置しないこと。〔Yコネクタ及び止血弁内で血液が凝固する可能性がある。〕長時間放置する場合は、Yコネクタ及び止血弁内及びバルブ部をヘパリン加生理食塩液等で満たしておくこと。\*\*
- 本品の仕様が使用目的と手技に適合していることを確認すること。

### 3. 不具合・有害事象

#### 1) 重大な不具合

- 本品の使用に伴い、以下のような不具合の可能性がある。
- ・カテーテルシャフト、ガイドワイヤの抜去困難\*\*

- ・カテーテルシャフト、ガイドワイヤの破損、離断、破断\*\*
- ・ガイドワイヤのコーティング剥離\*\*
- ・ガイドワイヤのキンク\*\*

#### 2) 重大な有害事象

一般的に血管造影及びTAE（肝動脈塞栓療法）に随伴する病的症候に以下の副作用、合併症が報告されている。

- ・血管内膜損傷
- ・低血圧、徐脈
- ・ショック
- ・動脈閉塞
- ・喘息
- ・蕁麻疹
- ・出血、血腫
- ・喉頭浮腫
- ・悪心、嘔吐

本品使用中に患者に異常が認められた場合、直ちに適切な処置を行うこと。

#### 4. その他の注意

- 使用後は、感染、汚染等に注意し廃棄すること。

#### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

##### 1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光をさけて常温で保管すること。

##### 2. 使用期限

- 使用期限は、個包装、箱の使用期限欄を参照すること。〔自己認証(当社データ)により設定〕

#### 【包装】

1セット／箱

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806

#### <流量>\*\*

| 公称外径[mm]<br>手元部/先端部     | 有効長<br>[cm] | 造影剤種類   | ヨード濃度<br>[mg/mL] | 粘稠度<br>[mPa・s] | 流量[mL/sec]            |                       |                          |                          | デッドスペース<br>ボリューム[mL] |
|-------------------------|-------------|---------|------------------|----------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|
|                         |             |         |                  |                | 4, 200kPa<br>(600psi) | 5, 500kPa<br>(800psi) | 7, 000kPa<br>(1, 000psi) | 8, 400kPa<br>(1, 200psi) |                      |
| 0.97/0.88<br>(2.9/2.6F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 3.2                   | 4.2                   | —                        | —                        | 0.60                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 2.9                   | 3.7                   | —                        | —                        | 0.70                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 2.7                   | 3.5                   | —                        | —                        | 0.75                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 2.1                   | 2.7                   | —                        | —                        | 0.60                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.8                   | 2.3                   | —                        | —                        | 0.70                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.7                   | 2.2                   | —                        | —                        | 0.75                 |
| 0.95/0.80<br>(2.9/2.4F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 2.7                   | 3.5                   | 4.3                      | —                        | 0.58                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 2.4                   | 3.1                   | 3.8                      | —                        | 0.66                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 2.2                   | 2.8                   | 3.5                      | —                        | 0.71                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 1.6                   | 2.1                   | 2.6                      | —                        | 0.58                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.5                   | 2.0                   | 2.4                      | —                        | 0.66                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.4                   | 1.8                   | 2.3                      | —                        | 0.71                 |
| 0.95/0.71<br>(2.9/2.1F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 2.7                   | 3.5                   | —                        | —                        | 0.55                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 2.4                   | 3.0                   | —                        | —                        | 0.63                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 2.2                   | 2.9                   | —                        | —                        | 0.68                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 1.6                   | 2.1                   | —                        | —                        | 0.55                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.5                   | 1.9                   | —                        | —                        | 0.63                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.4                   | 1.9                   | —                        | —                        | 0.68                 |
| 0.95/0.64<br>(2.9/1.7F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 2.0                   | 2.6                   | 3.2                      | 3.7                      | 0.52                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.9                   | 2.4                   | 2.9                      | 3.5                      | 0.58                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.8                   | 2.3                   | 2.8                      | 3.3                      | 0.61                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 1.5                   | 1.9                   | 2.3                      | 2.7                      | 0.52                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.4                   | 1.8                   | 2.1                      | 2.5                      | 0.58                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.4                   | 1.7                   | 2.1                      | 2.4                      | 0.61                 |
| 0.90/0.64<br>(2.7/1.9F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 1.5                   | 1.9                   | 2.4                      | 2.8                      | 0.43                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.4                   | 1.8                   | 2.2                      | 2.6                      | 0.48                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.4                   | 1.8                   | 2.2                      | 2.5                      | 0.52                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 1.3                   | 1.6                   | 1.9                      | 2.3                      | 0.43                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.2                   | 1.5                   | 1.8                      | 2.2                      | 0.48                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.1                   | 1.4                   | 1.8                      | 2.1                      | 0.52                 |
| 0.79/0.68<br>(2.4/2.0F) | 110         | イオパミドール | 300              | 4.4            | 1.9                   | 2.5                   | 3.1                      | 3.6                      | 0.47                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.7                   | 2.2                   | 2.7                      | 3.2                      | 0.53                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.7                   | 2.2                   | 2.7                      | 3.2                      | 0.57                 |
|                         | 110         | イオパミドール | 370              | 9.1            | 1.4                   | 1.8                   | 2.2                      | 2.6                      | 0.47                 |
|                         | 135         |         |                  |                | 1.2                   | 1.6                   | 2.0                      | 2.3                      | 0.53                 |
|                         | 150         |         |                  |                | 1.2                   | 1.6                   | 1.9                      | 2.2                      | 0.57                 |

装置: Mark V ProVis (日本メドラッド社製)、造影剤温度: 37℃、プレッシャーリミット: 8, 400kPa (1, 200psi)、リニアライズ: 0.3sec

※実際の使用条件においては、諸条件により流量が異なる場合がある。